

沖縄RESASチャレンジカップ2025

読谷から香る、新しい農作物  
～読谷村産バニラで  
地域と若者をつなぐ～

沖縄県立球陽高等学校

生島楓梨 ウォーカー未来 桑江かがや

仲本遥花 長浜ひなた

# 沖縄県読谷村



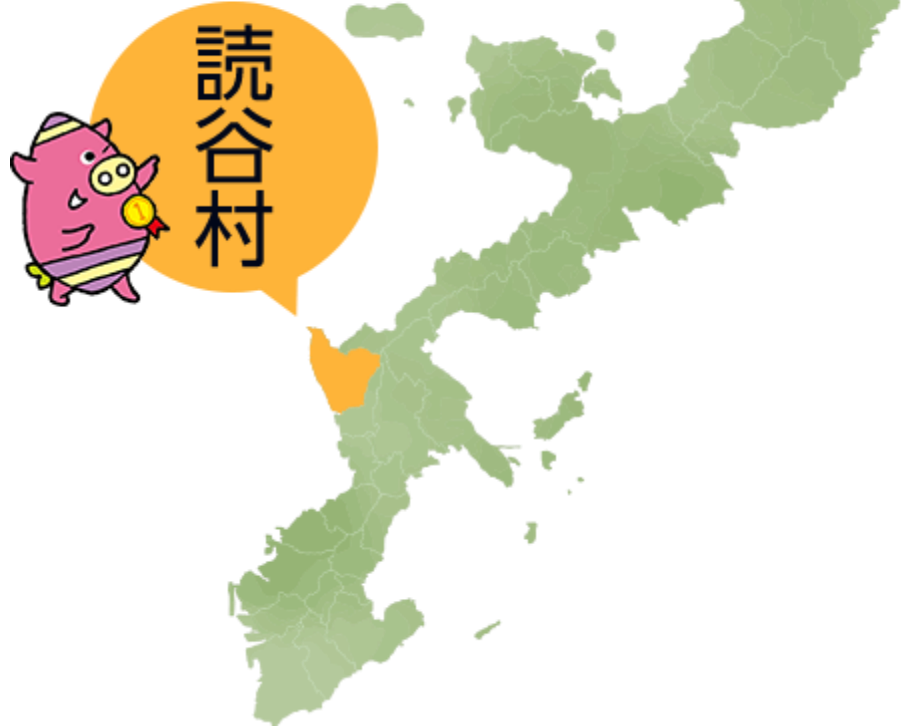
人口42,326人  
(令和7年10月末)  
面積35.28km<sup>2</sup>



座喜味城



やちむん



さとうきび畑

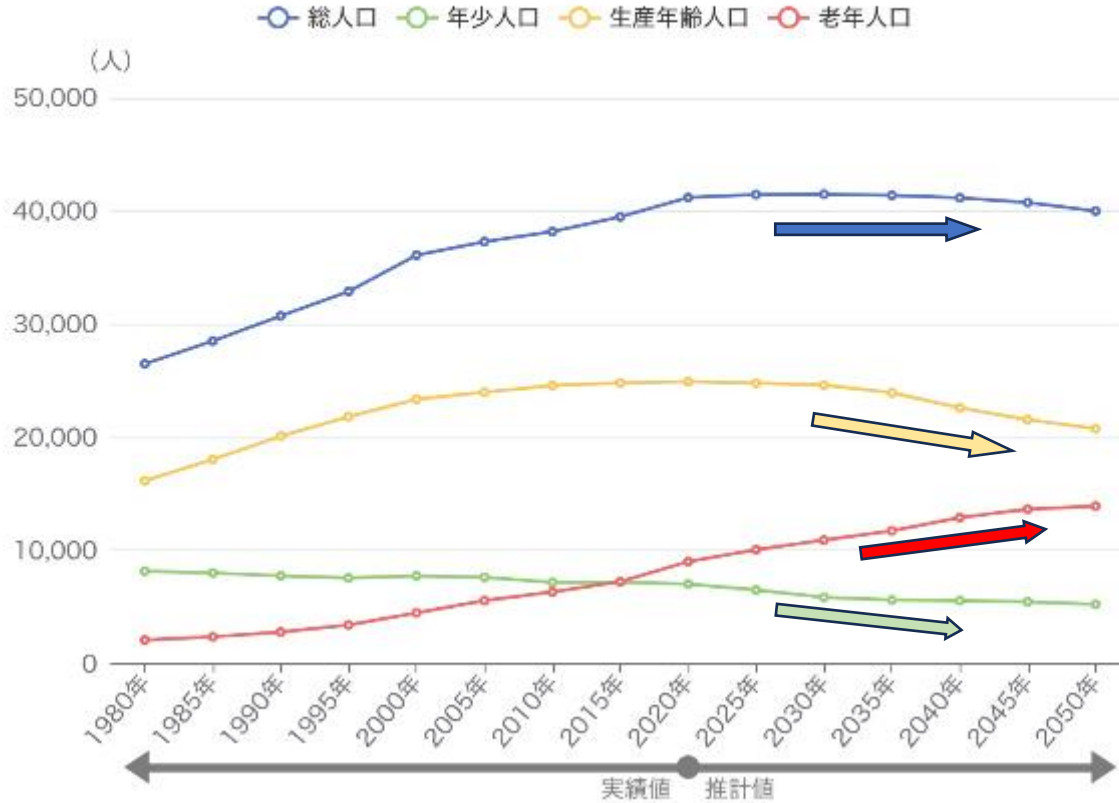


紅芋タルト

**日本一人口の多い村！！**

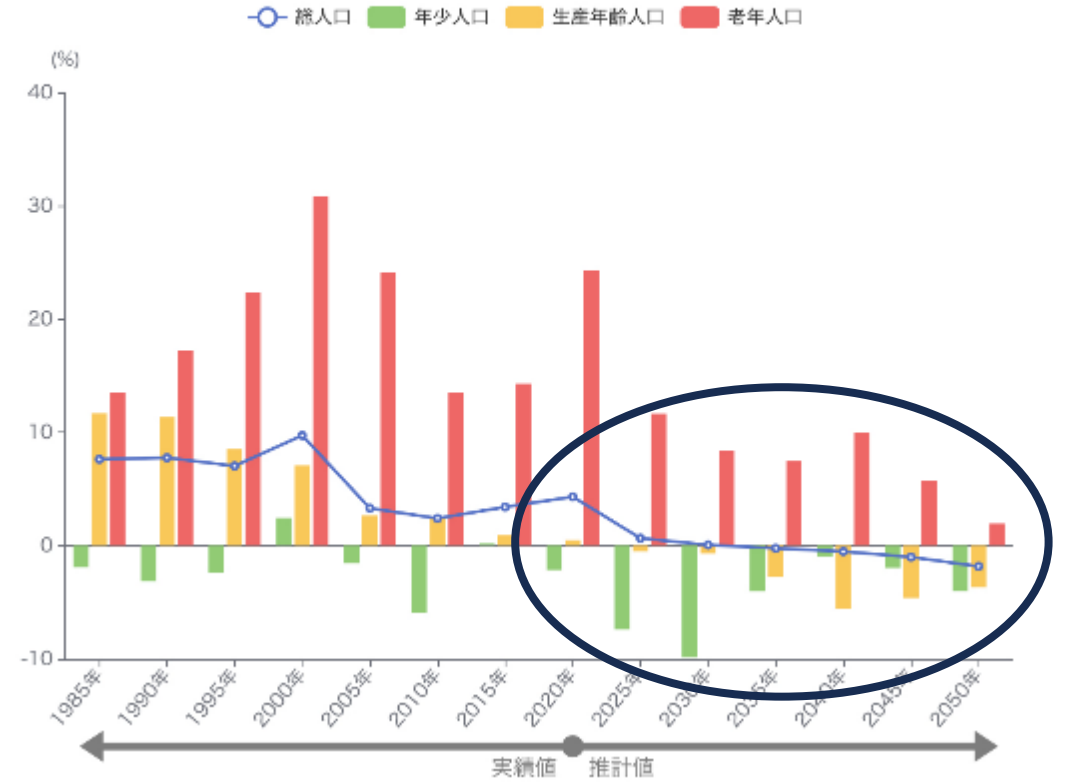
# 課題1 若者の減少・流出

人口推移グラフ  
沖縄県読谷村



【RESAS 人口マップ-人口構成分析】

人口増減  
沖縄県読谷村



【RESAS 人口マップ-人口増減分析】

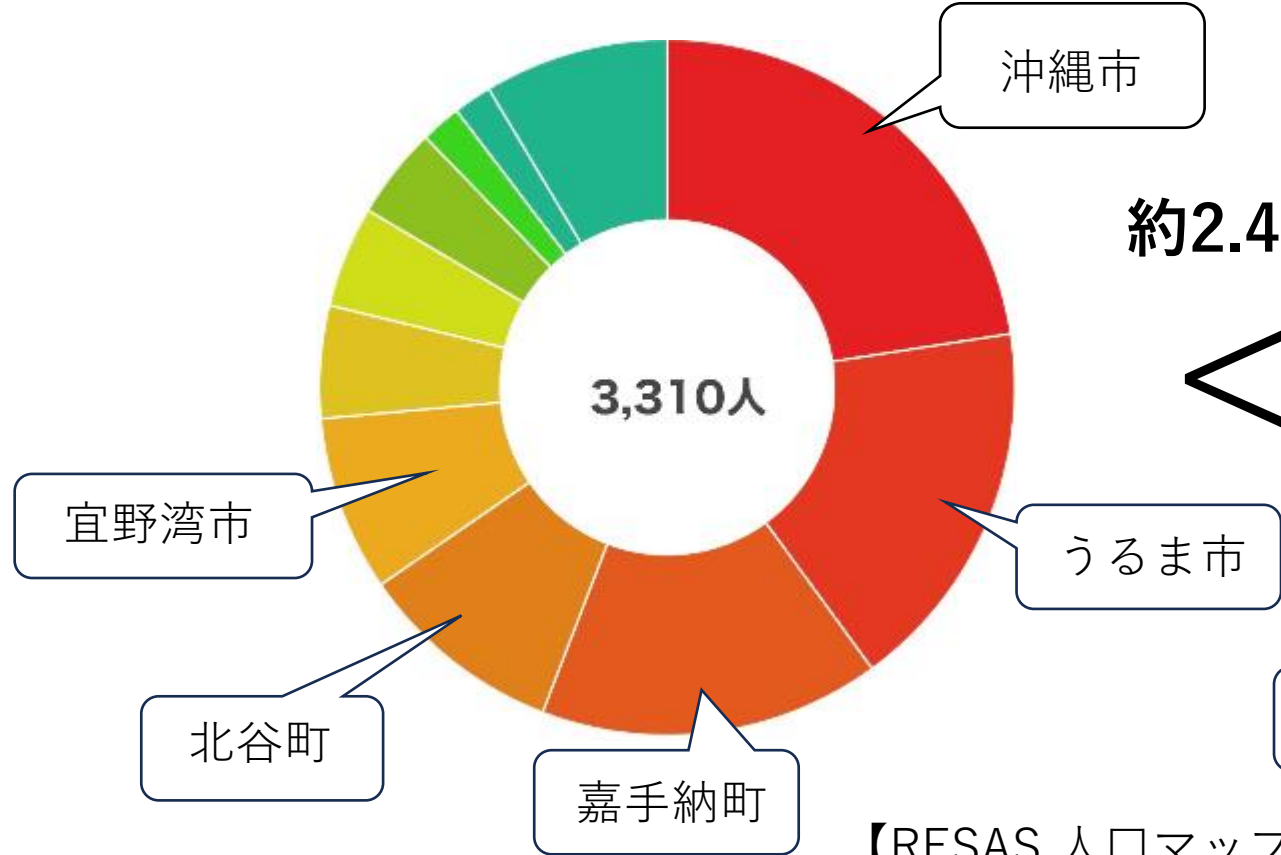
総人口は横ばいだが、少子高齢化が進んでいる

# 課題 1 若者の減少・流出

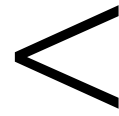
## 流入者数・流出者数の地域別構成割合

2020年 沖縄県 読谷村  
通勤者で見る  
流入者数：3,310人  
流出者数：8,060人  
(流出超過数：4,750人)

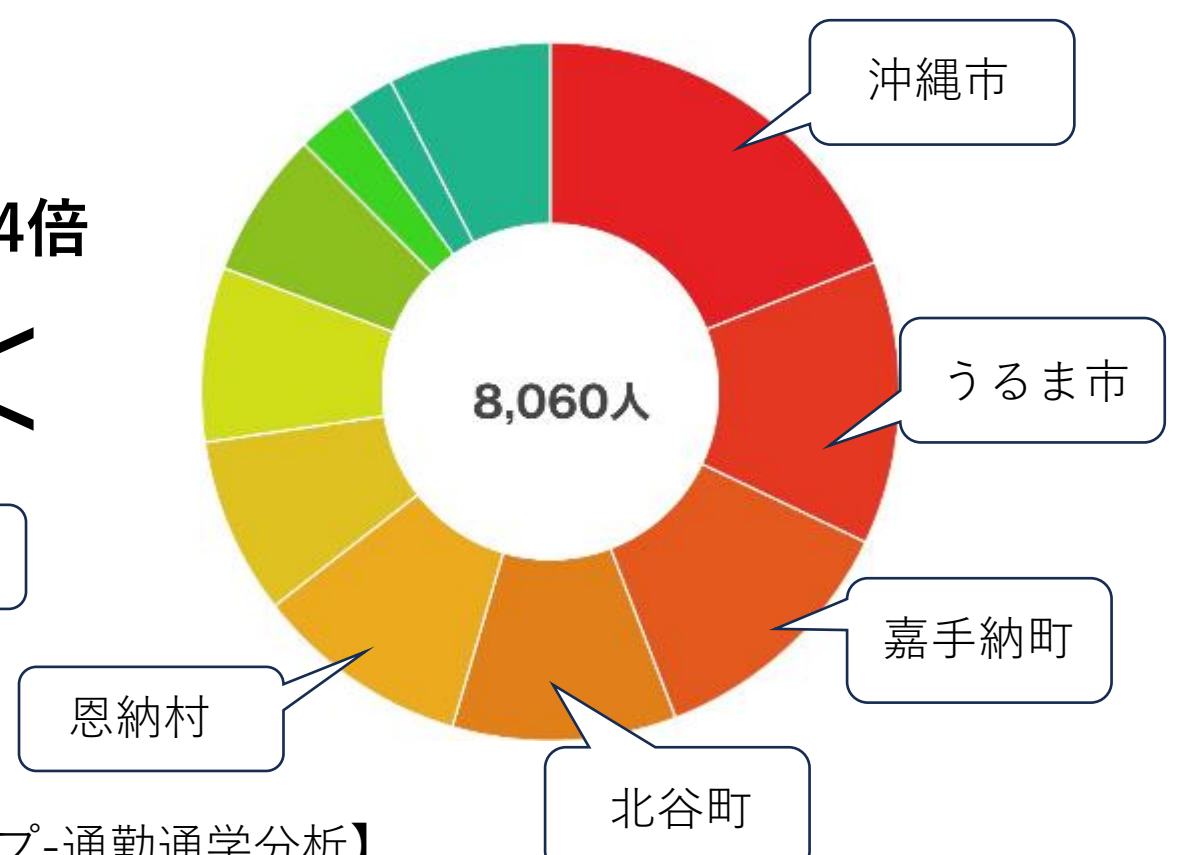
流入者数



約2.4倍



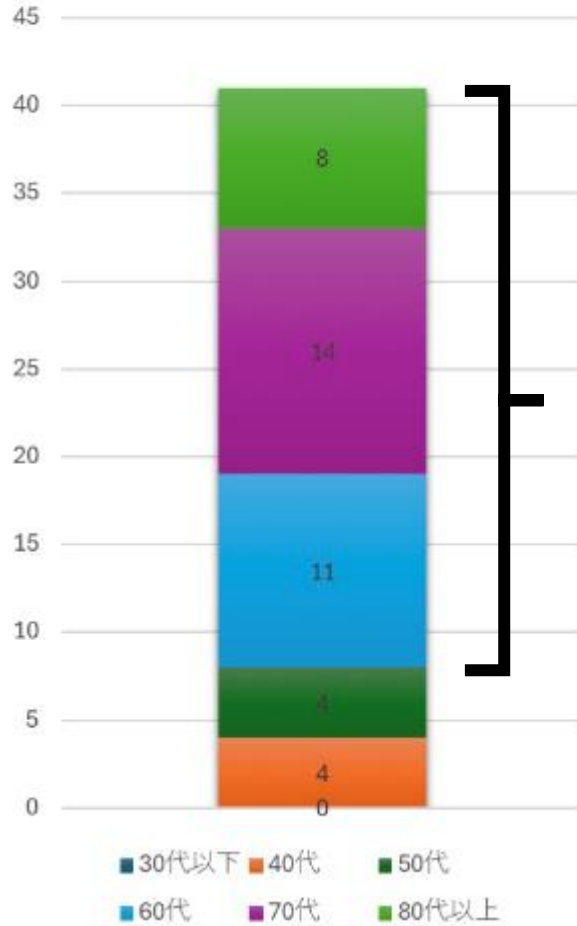
流出者数



【RESAS 人口マップ-通勤通学分析】

# 課題 2 高齢者が中心の農業

読谷村の  
年齢階層別基幹的  
農業従事者(人)



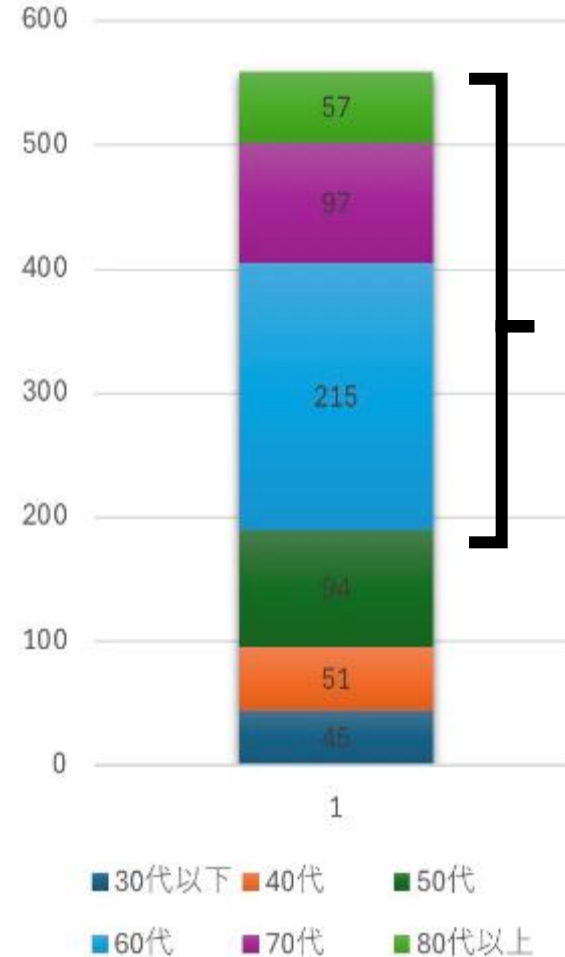
高齢者の割合

**8割!!**

30代以下

**0人**

今帰仁村の  
年齢階層別基幹的  
農業従事者(人)



高齢者の割合

**6.6割**

# 課題3 低い農業所得

県内の平成30年の農家所得は

約 192.8万円

全国の農家所得は

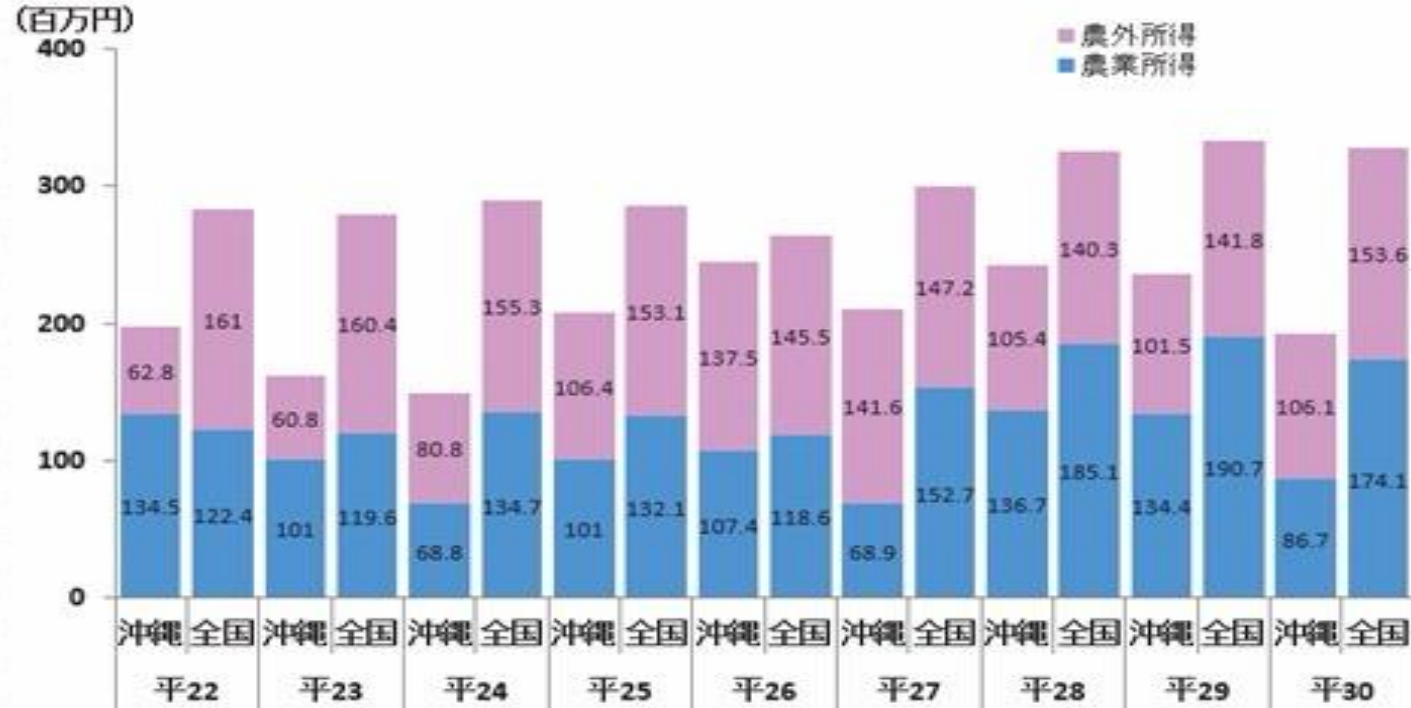
約 327.7万円

$327.7万円 - 192.8万円 = 134.9万円$

全国と比較すると

約134.9万円の差がある！！

農業経営体の収支（全国との比較）



資料：農林水産省「農業経営統計 経営形態別経営統計」

若者が魅力を感じる新しい農作物は

「バニラビーンズ」

です！

# 読谷村産バニラビーンズの新聞記事等

## 沖縄産バニラでスイーツ 2商品が全国販売 読谷テロワール 国産での量産は初

2024年4月16日 5:59 | 経済   

#経 #経済 #読谷村 #中部 #読谷テロワール #バニラ #スイーツ #沖縄の経済

バニラを県の特産品にしようと、全国展開に向けた動きが始まっている。読谷テロワール（読谷村）が生産したバニラを使ったスイーツ2種類が3月、県外のスーパーや菓子店で、期間限定で発売された。国産バニラを使った商品の量産とスーパーなどでの流通は全国で初めて。菓子業界からの期待も高い。通年販売に向けた生産拡大が課題だ。（政経部・大川藍）

【沖縄タイムス】



【琉球放送 Aランチ】

## 「読谷バニラ」趣味から大きく飛躍 県外でスイーツに採用 沖縄

公開日時 2024年04月24日 12:14 更新日時 2024年07月25日 17:34



#お菓子 #どローカル #中部 #沖縄経済ニュース



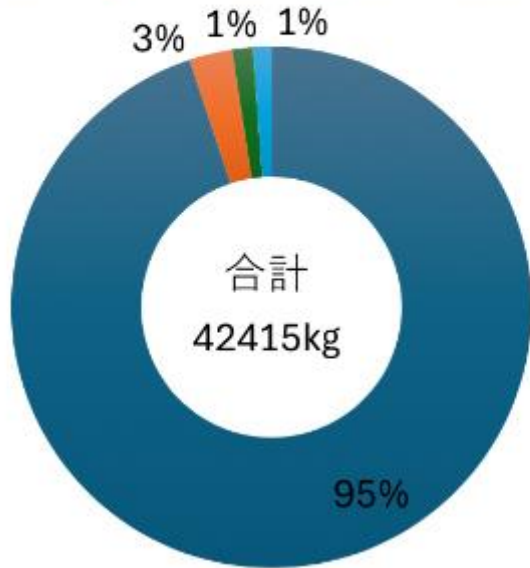
国内でも珍しいバニラの栽培に挑んでいる読谷テロワールの当山明菜さん＝14日、読谷村喜名の同社ビニールハウス

【琉球新報】

# 日本で流通しているバニラビーンズ

## バニラビーンズ輸入相手国(2025年)

■ マダガスカル ■ ウガンダ ■ インドネシア ■ その他



財務省貿易統計より作成

ほぼ100%輸入

日本にも  
生産者がいる

**国産も使用して欲しい!!!**

# 読谷テロワールの生産状況



耕地面積 約800坪  
生産量 約100kg  
キロ単価 5万円以上



国内菓子製造メーカー「モンテール」  
との期間限定のコラボをする中で  
「**読谷バニラを毎年使いたい**」  
という声

必要な量 **1t**

**需要に供給が追いついていない**

# バニラ栽培のメリット

## ①農薬散布が無い

- ・作業時間の短縮
- ・身体的な負担の減少

## ②軽くて保存が可能

- ・輸送費を抑えられる
- ・常温で保存でき持ちが良い

## ③単価が高い

バニラビーンズ1kg  
約5万円

## ④利用用途が広い

様々な菓子に使用され、  
香料としても活用できる

**新たな農作物！**

読谷村の農業を活性化させるアイデア

バニラビーンズ

×

教育・観光

# ステップ①教育連携で農園見学を実施



農林高校や製菓専門学校<sup>の</sup>学生、製菓企業、  
観光客を対象に  
バニラ農園見学を実施！！

1人あたりの見学料金×1日の見学者数×月間稼働日数

3000円×6人×10日 = **18万円**

年間だと、

3000円×6人×120日 = **216万円**

**受粉体験**

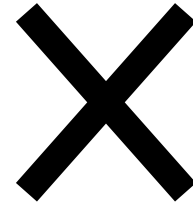
※5月がピーク

**栽培方法学習**



# ステップ②バニラビーンズの高付加価値化

読谷村産バニラビーンズを使用したジェラートを「やんばるジェラート」と開発中



読谷テロワール  
YOMITAN TERROIR

ジェラートの売り上げ

※年間、6店舗で毎日120人が購入すると、 $365日 \times 120人 \times 700円 = 3066万円$

バニラビーンズ原料の売上推計

※ジェラート1食分のバニラ原料費を20円とすると、 $365日 \times 120人 \times 20円 = 87万6千円$

まずは、読谷村産バニラビーンズに興味を持ってもらう！  
そして、新たな農作物として農業に挑戦したい若者に提案し、  
製品化のためにも生産量を増やすことが重要

しかし…

# 「キュアリング」が生産の大きな壁



伝統的な加工方法:屋外作業が多いため、天候に左右されます。(日照不足、雨天中止等)



専用機で加工:1台で5つの加工工程を完成させます。各工程を独立し遂行することも可能。  
より効率的、省力化な加工方法を提供します。



# ステップ③農業を始めやすくする

新規農家が生産したバニラの果実を  
読谷テロワールが買い取り、  
キュアリングする(生産委託)



新規農家は安定した収入が得られる  
読谷テロワールは生産量が増やせる

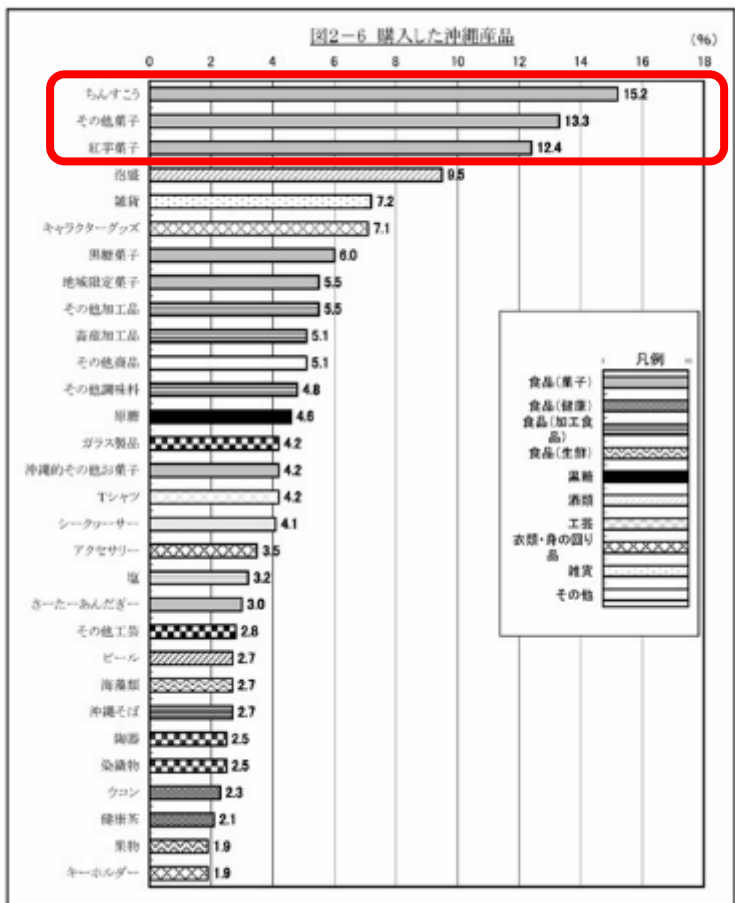
キュアリング技術がなくとも  
栽培を始めやすい！



読谷村の耕作放棄ハウスを改修し、  
バニラを栽培する

**農業の担い手不足解消**

# ステップ④観光資源として活用



←菓子類が多い！

ちんすこう



紅芋タルト

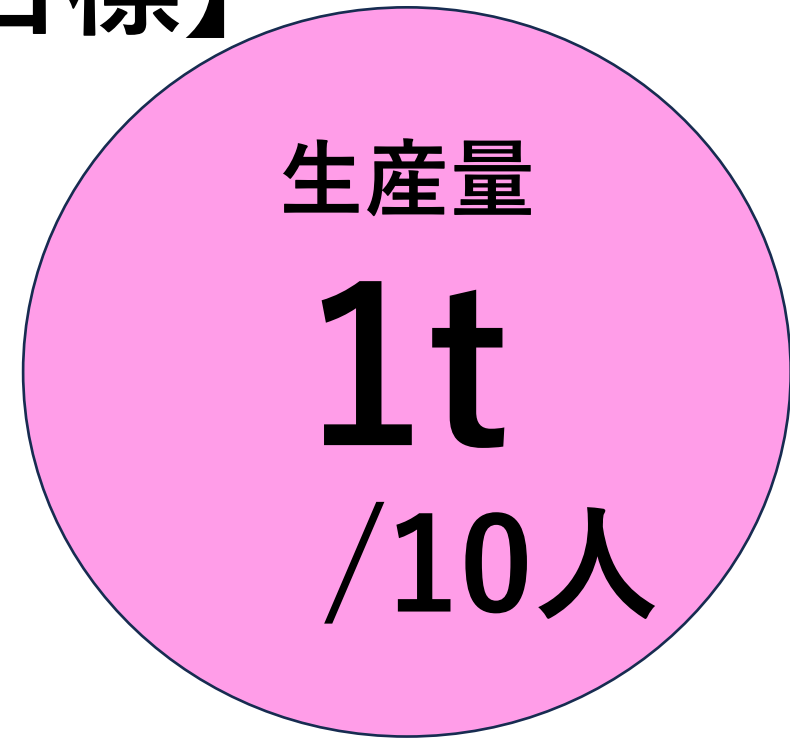
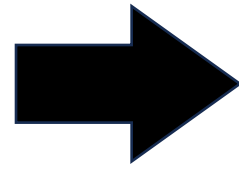


既に需要が高いお土産品に読谷村産バニラを使用することで、より付加価値を高める

【沖縄特産品実態調査等事業 報告書  
第2章県内における観光土産品実態調査】

**加工製造業や観光事業への波及効果**

# 【新規生産者のバニラ生産目標】



$$1人100kg \times 10人 = 1t$$

$$1人500万円 \times 10人 = 5000万円$$

**供給不足の解消**

# 【期待できる効果】



# 【読谷村の農業活性化へのアクションプラン】

一緒に生産する新規就農者の掘り起こしや、  
バニラビーンズを使用した商品開発を実施。

栽培や設備の費用、耕作放棄ビニルハウスの情報を  
読谷村や沖縄県の行政や金融機関で支援する取り組みが必要。

【読谷テロワールさん】

読谷村の農家高齢化解消のためにも、バニラビーンズを若い人が  
育てていけるようにしたい！

読谷村からバニラの香りを全国・世界に届けたい！  
バニラで人が笑顔になれるような会社にしていきたい！

**読谷村産バニラビーンズのPR活動や、  
商品開発をしていきたい！**